

第10回北陸風景街道交流会議 ～結果報告～

- ・開催日時：平成28年11月8日(火)「交流会議」「懇親会」・9日(水)「現地見学会」
- ・開催場所：新潟県上越市・糸魚川市
- ・参加者：来賓(上越市長、糸魚川市長、高松環境調査室長)
講演(筑波大 石田教授、道の駅能生 清水センター長)
アドバイザー(オフィス・ウスイ 臼井代表)、ルート関係者・国・県・市担当者など79名参加

■北陸風景街道交流会議(1日目)〔直江津学びの交流館〕

- ・風景街道の発展のため、情報交換や人的交流を目的として、平成18年度より開催。
- ・今回は10回目を迎え、各ルートより「将来(5年先)を見据えた計画・目標」を発表。



【石田東生〔筑波大学 社会工学域 教授／NPO法人 日本風景街道コミュニティ 代表理事〕】

- ・人が、地域が元気に強くなると、強靱化も観光地域づくりもあり得ない。
- ・地方のインフラと空間の整備実現のためには、インフラ政策と技術のイノベーションが重要になってくる。



【清水靖博〔道の駅マリンドリーム能生((株)能生町観光物産センター長)〕】

- ・道の駅が休憩施設から目的地化してきている。北陸新幹線開通後、HPの閲覧数が大幅に増えた。
- ・これからは、自転車に注目している。徳合地域への二次交通を含め連携していきたい。



【臼井純子〔オフィス・ウスイ 代表／NPO法人 日本風景街道コミュニティ 理事・事務局長〕】

- ・時代と共に、働き方・働く意味が変化してきており、若い人が田舎に来ることに抵抗感が無くなっている。
- ・観光についてもモノからコトへ変化。農業体験、江戸の町歩きなど、体験型へ変化。
- ・連携して欲しいを思わせるには、各団体の魅力の向上が大事。具体的な計画を立てて欲しい。



第10回北陸風景街道交流会議 ～結果報告～

■現地見学会(2日目)



「枝垂れ桜の咲く里への回り道」ルート内 ⇒ 道の駅マリンドリーム能生 ⇒ 上越妙高駅西口フルサット